



新しい庁舎の建設に向けて

(新庁舎等建設だより) 創刊号—H25 年(2013 年). 5 月

新庁舎及び消防庁舎の建設には市民の皆さんや市議会のご理解を得ながら進める事が大切であることから、この度「新庁舎等建設だより」を発行していくこととしました。

1. 新庁舎等建設基本構想が策定されました！

昨年度、「みんなで作る市庁舎」をコンセプトに市民委員会から提出された「新庁舎建設基本構想(案)」や市議会からの基本構想策定に当たっての提言およびパブリックコメントでのご意見を踏まえて、「新庁舎等建設基本構想」を策定しました。

基本構想では、新庁舎の目指す姿を「まちづくりの中心となる庁舎」とし、これを実現するために、5つの基本理念と基本方針を定めました。

なお、基本構想の中で建設地は旧習志野高校跡地(市役所前グラウンド)に決定しました。

【新 庁 舎 等 建 設 の 基 本 理 念 と 基 本 方 針】

【目指す姿】

【基本理念】

【基本方針】

まちづくりの中心となる庁舎

1.市民サービス・交流の拠点となる庁舎

- ①市民サービスの向上につながる庁舎
- ②市民が集う開かれた庁舎
- ③情報化へ配慮した庁舎

2.市民の安全・安心を支える庁舎

- ①災害に強い庁舎
- ②非常時に対応できる庁舎

3.経営改革の象徴となる庁舎

- ①経済性とのバランスを考えた庁舎
- ②経営的視点を取り入れた庁舎
- ③公共施設再生の取組みと連携した庁舎

4.人や環境にやさしい庁舎

- ①ユニバーサルデザインに配慮した庁舎
- ②地球環境に配慮した庁舎

5.市民が誇りを持てる庁舎

- ①景観形成や周辺環境へ配慮した庁舎

【新 庁 舎 に 求 め ら れ る 役 割 と 機 能】

現在の庁舎の課題

※安全性確保のため現在は仮庁舎で業務をしています。

庁舎の分散化や内部の狭隘化：庁舎が分散し不便、狭隘化による交流スペースの不足

耐震性能や防災機能の不足：震度6強で倒壊の恐れ、防災拠点機能の課題

環境問題への対応：施設や設備の老朽化による環境負荷や高コスト

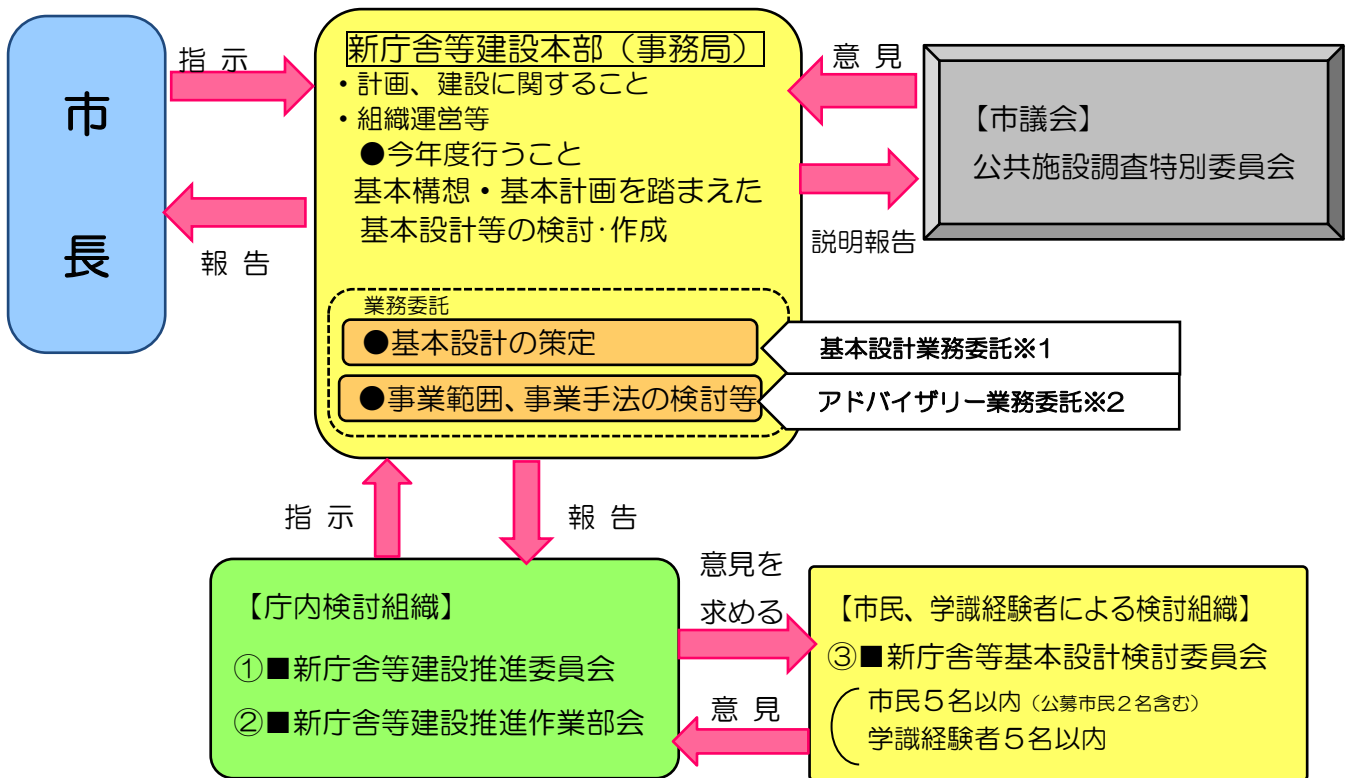
新庁舎に求められる役割や機能

市民利便性や市民協働：バリアフリー化、ユニバーサルデザイン、総合窓口による利便性向上や市民協働スペースの提供

防災拠点機能：耐震性能や防災拠点機能の向上、消防庁舎や地域防災組織、関係機関と連携した速やかな対応・対策

環境配慮：省エネルギー、自然エネルギー活用、環境負荷低減やライフサイクルコスト低減などの環境への配慮

2. 今後の体制～推進体制を強化するため、新庁舎等建設本部を設置しました。～



① 新 庁 舎 等 建 設 推 進 委 員 会

役割：新庁舎及び消防庁舎の建設、移転完了までの重要事項や方針の決定を行う。

構成：副市長、各部署の長など

② 新 庁 舎 等 建 設 推 進 作 業 部 会

役割：具体的な調査・検討を行い、取りまとめ(案)を推進委員会へ報告する。

構成：関係各課長又は課長相当職

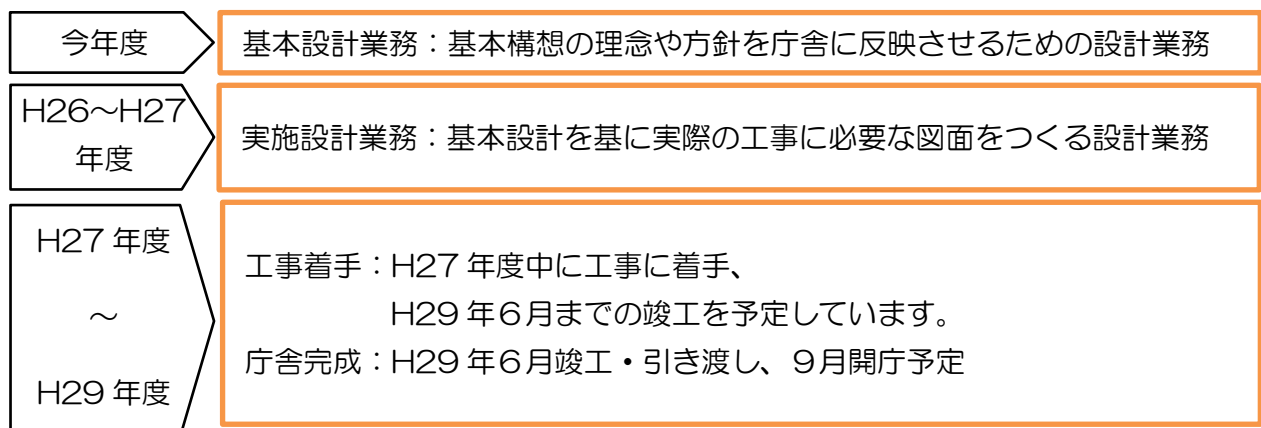
③ 新 庁 舎 等 基 本 設 計 検 討 委 員 会

役割：基本構想に基づいた基本設計について様々な視点からの意見及び助言を述べる。

構成：市民、学識経験者

※1、2 プロポーザルで委託先選定(基本設計候補者選考委員会、アドバイザー業務委託事業者選考委員会を設置)

3. 新庁舎ができるまでの今後のスケジュール



お問い合わせ先：047-451-1597

習志野市新庁舎等建設本部(資産管理室内)